



# 池雪だより

大田区立池雪小学校

11月号 令和7年11月4日

校長 尾上 健二

<https://www.ota-school.ed.jp/chisetsu-es/>



6年 とうぶ移動教室

## 人との関わりを通して学ぶもの～尊敬、そして感謝～

校長 尾上 健二

残暑の厳しかった9月から10月へ、季節が駆け足で過ぎていくように感じます。校庭では金木犀の香が漂い、ようやく秋を感じられるようになりました。今年度の学校生活も振り返りを過ぎ、こどもたちの姿から成長を感じます。学校生活を改めて振り返ると、こどもたちは実に多くの人々と関わりながら学んでいることが分かります。一番身近な存在は担任ですが、それ以外にもたくさんの人との関わりの中でこどもたちは多くのことを学び、自身の成長の糧としています。10月中旬に実施した6年生のとうぶ移動教室では、大変充実した3日間が過ぎました。そして、そこでは個性あふれる人々に出会い、多くのことを学ぶことができました。

こどもたちが最初の見学地、森將軍塚古墳に着くと、そこにはボランティアの古墳ガイドの方が待っていました。パネルを使いながら、なぜここに古墳が築かれたのか、当時の暮らしや古墳について熱心に説明してくださいました。2日目の夜には地元の星空観察ガイドの皆さんが体育館に天体望遠鏡を持参し、ご自身が撮影した星を映すための様々な機材を用意して待っていました。自分が興味をもった星について、日々追究している姿が伝わってきました。星空とは縁遠い都会に住むこどもたちに、季節ごとに見られる天体ショーを熱心に伝えてくださいました。りんご狩りでお世話になった松井農園の社長からは、りんご栽培を中心に農園を運営していく工夫や努力を語っていただきました。その工夫や努力を知ったからこそ、りんごの味も美味しさが増したのでしょう。最終日には伝統工芸を伝承する和紙職人に手漉き和紙作りを学びました。デモンストレーションをする職人の一つ一つの技の正確さに驚き、伝統を受け継ぐ使命の重さを感じることができました。

移動教室という言葉の通り、こどもたちは机上の学習ではなく、そこで暮らす人々と触れ合うことで生きた知識を身に付け、そして人々の生き方を学ぶことができました。こどもたちの素直に驚き、感動する姿から、感謝や尊敬の気持ちを抱いていることが伝わってきました。そのような感受性豊かなこどもたちの反応を間近に見て、私は大変心が温まりました。

人との関わりを通して、こどもたちの心は大きく成長します。多くの人との出会いを学習活動に効果的に位置付けて、よりよい成長につなげていきたいです。来週は、いよいよ音楽会です。今、こどもたちは本番に向けて熱心に練習しています。こどもたちの奏でる音楽をぜひご期待ください。こどもたちのますます成長した姿を披露できるよう、教職員一同、引き続き力を合わせて指導してまいります。

日	曜	行事予定
1	土	東京都教育の日
2	日	
3	月	文化の日
4	火	B時程 避難訓練(地震) ☆
5	水	体育朝会(高) 補習(4年)
6	木	音楽会リハーサル 安全指導 ★
7	金	B時程 音楽会始
8	土	B時程 音楽会終(保護者鑑賞日)
9	日	
10	月	振替休業日
11	火	委員会集会(外国語) 水曜時間割 ☆
12	水	特別時程(火曜時間割) 希望制個人面談① 補習(4年)
13	木	特別時程 希望制個人面談② ★
14	金	特別時程 希望制個人面談③ 補習(6年)
15	土	
16	日	
17	月	全校朝会 委員会 たてわり班
18	火	特別時程 4時間授業 就学時検診 ☆
19	水	児童集会 補習(6年)
20	木	特別時程 希望制個人面談④ 補習(5年) ★
21	金	特別時程 希望制個人面談⑤ 補習(5年)
22	土	
23	日	勤労感謝の日
24	月	
25	火	B時程 体育朝会(中) モアレ検査(5年) ☆
26	水	特別時程 音楽集会(各学級) 補習(3年) 学年だより12月号配信日
27	木	月曜時間割 体育朝会(低) ★
28	金	特別時程
29	土	
30	日	

SC 訪問日 ★森下先生 ☆河村先生

# 池雪小学校いじめ防止基本方針について

生活指導部 平尾早織

本校は、いじめのない学校の実現や、児童・生徒の尊厳を保持する目的のもと、大田区・教育委員会、家庭、地域社会及びその他の関係機関と相互に連携して、いじめの未然防止、早期発見、早期対応、重大事態への対応のためのいじめ防止等の総合的な対策を効果的に推進するための基本的な方針を定めています。いじめを把握した場合には、速やかに解決を目指します。お子さんの様子がいつもと違うと感じたり、心配なことがあったりしましたらいつでもご相談ください。

## ～池雪の英語教育～

外国語専科 串崎佳津代

5・6年生の外国語活動が外国語科となり、5年目となります。ここで、改めて小学校での英語学習の意義について考えてみたいと思います。それは、早期に「英語耳」や「英語脳」を育み、グローバル社会での基盤作りやコミュニケーション能力の向上に繋がるためであると考えられています。日々の授業でも、英語に親しみながら相手と自分との意識を取り入れた会話を重視し、将来、コミュニケーションがとれるための素地作りを目指しております。

## ～スタディ・フェスティバルの感想～

【4年】

- 最初は緊張して自分のセリフを大きな声で言えませんでした。たくさん練習して、お客さんの顔を見ながら演技することができました。
- 大勢の人に声が届くように、大きな声でセリフを言ったり、みんなで歌いながら踊ったりしてお客さんを楽しませることができました。
- スタディ・フェスティバルは、それぞれの学びが共有できる良さがあると思いました。この行事で知った学びを友達にも共有したいです。
- 社会の勉強とゲームを合体したのが面白かったです。お客さんが楽しんでごみの分別について勉強してくれたのがうれしかったです。
- わたしの決めたあては、来てくれた人も自分も楽しむことでした。反省することもあります。楽しんでもらえたいし、楽しむことができました。
- わたしは、ほねほねクイズを担当しました。準備は順調に進み、リハーサルも本番のようにできました。本番では、大きな声でルール説明などを読めました。クイズに参加してくれた人たちが、面白かったと言ってくれました。問題を出した後、1回1回タイマーをもどすのに時間がかかって待たせてしまったので、今度はしっかりと役割分たんをしたいです。
- わたしは、英語しんけいすいじゃくの担当でした。チームのみんなで協力したおかげで、お客さんもたくさん来ました。6年生も来てくれたので、仲良く頑張ったおかげだなと思いました。役割がちよっとごちゃごちゃしてしまったので、来年はちゃんと役割を決めて、本番までに準備

をしておきたいです。

【5年】

- スタディ・フェスティバルでは、「ゆっくり話す」「大きな声で」「はっきりと」を意識して説明をしましたが、できないところもあったので、これからも意識して分かりやすい説明をしたいです。
- 練習のときはうまく行かなかったけれども、本番はうまく立て直すことができました。他の学年の人が楽しそうにしてくれていたのが嬉しかったです。
- 当日、たくさん人が来たときは、待っている人を集めて一気に説明する工夫をして、効率的にできました。来年もみんなが楽しんで学習できるように、工夫や努力を重ねていきたいです。
- たくさんのお客さんが来てくれて嬉しかったです。最後に「ありがとうございました。」と言ってきて、頑張ってよかったなと思いました。
- 大声で呼び込みをしたり、校内を歩きながら宣伝したりと、自分なりに工夫しました。たくさんの人がきてくれて、とても嬉しかったです。
- どの学年がどんな計算を習っているか調べながら問題を作るのは大変でしたが、みんなが楽しんでくれてよかったです。意外とみんなできていたのでもう少し難しくしてもよかったです。
- 代表委員として朝六さんの子と一緒に回りました。あまり自分から話しかけられなかったなので、次はもっといろんな人に話しかけたいです。

【6年】

- 今まで学習してきたこと（食物連鎖）を生かすことができたと思います。遊びと学びを結びつけることで、学びを深め実際に活用しながら楽しむことはとても大切だと感じました。
- お客さんに学習してきたことを伝えることができました。観察やクイズを通して、お客さんに新たな気付きや発見につながるきっかけをつくることができました。
- お客さんから、「劇、おもしろかったです！」と声を掛けてもらえたことで、今まで準備してきたことが報われた感じがしました。友達と協力して準備する大切さを学びました。
- 事前準備が大変でしたが、だからこそ役割分担をして、普段話さないような友達ともたくさん話しながら取り組みました。お客さんの笑顔にもつながり、最高の思い出になりました。
- 縄文時代のことを1年生にも分かりやすく表現できるか不安でしたが、何度も練習をする中で、台詞の言い方やジェスチャーの工夫を見付けることができました。
- 同じ学年の人や、先生や他の学年の人に「難しかったけど楽しかった！」と声をかけてもらえてうれしかったです。みんなですっきりと連携をとることが大切だと思いました。
- ぼくは事前準備を頑張りました。どうしたら難しくできるか、簡単にできるかを考えてパズルをつくりました。ぼくの作ったパズルが採用されてうれしかったです。